

進路づくりプロジェクト

未来への可能性を広げよう!

目的：主体的な進路選択、進路ミスマッチ防止
(1学年総合的な探究の時間)

「キャリア・パスポート」を活用して自己理解を深め、インターンシップ等の社会体験をとおして社会への興味・関心を高める活動に取り組みました。

★1年生17人が、**インターンシップ**、**ジョブシャドウイング**、**アカデミックインターンシップ**に参加しました! たくさんの気づきや学びを得ることができました。今後の進路選択に必ずや活かしていきます。このような機会を設けて下さった事業所、学校関係機関の皆様にご心より感謝いたします。

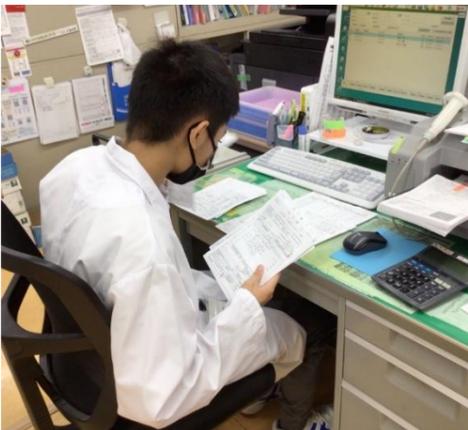
インターンシップ参加の様子



那覇市立中央図書館での実習



鏡原保育園での実習



会営業局とよみでの実習



日本トランスオーシャン航空での実習

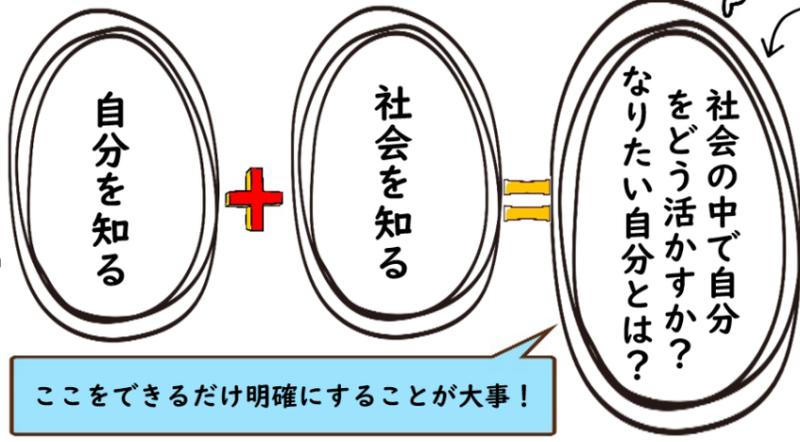


琉球新報社での実習



沖縄タイムス社での実習

進路を決定するには?



ここをできるだけ明確にすることが大事!

これを達成する為の手段

大学・短大
専門学校
就職

アカデミックインターンシップ参加の様子



大学HPで紹介されました!

「アカデミックインターンシップ」を実施しました!



高校生のみなさん、教室で休憩していた学生にも話かけていました。

学生食堂の見学風景



吉川麻衣子先生の講義にも参加



グループワークでは大学生と楽しみながら講義に参加



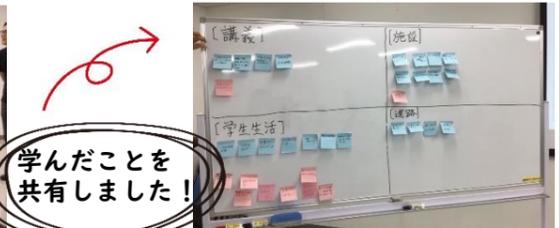
体験の最後には、今日一日を振り返る活動を行いました。



1日体験でお世話になった先生方、在学生との写真撮影



体験後の振り返り



沢山の気づきがありました!

学んだことを共有しました!

参加者の声

- 沖縄大学は、キャンパスがコンパクトで移動に時間がかからないところがいいと思った。また、学生の仲が良く、先生も優しくったのが印象に残った。
- 大学生から色々な話を聞いた。どの学部でどんなことを学べるか、将来どんなところに就職できるか分かった。学食がおいしかった。
- 大学進学や就職では、自分の武器を見つけて勝負していくことが大切だということが分かった。
- 将来、予想しなかった仕事に就くことがある。今から自分の武器を見つけておくことが大事。
- 授業が90分と高校より40分も長く最初はキツかったけど、意外と授業が楽しく時間もあっという間でした。
- 先生と学生の距離が近くとても協力的で進路実現においてもサポートが手厚い。

参加者の声

- インターンシップ前は、子どもたちと会話したりサポーするというイメージが強かったが、先生方がどれだけ慎重に子ども達を見ているかが分かりすぎたと思った。
- 安定した生活をおくるために働くと考えていたが、やりがい(利用者のニーズや用意した本が借りられている)があり、そのために働くことが大切だと分かった。
- 仕事は生活できるようにお金を貯めるだけだと思っていたけど、自分のスキルupのために資格を取っていたり、仕事を生きがいにしていたり自分が楽しむために働いていると気付いた。
- 体験前は給料を優先して仕事に就こうと思っていたけど、体験を通して給料ではなく、自分は何をしたいかが大切だと思えるようになりました。

ジョブシャドウイング参加の様子

参加者の声



- ずっと一人の人間として成長して、生きがいとスキルアップのために働くということが分かった。あらためて英語が好きだということが分かった。やり抜く力を身につけた。
- コミュニケーションの難しさを知り、日常生活で身に付けようと思った。企画の運営から進行までやり、大変かなと思ったが、やりがいがあった。一つの企画から多くのことを学べた。



まちなか留学 HELLO WORLD!



株式会社HelloWorldでのジョブシャドウイング
～国際交流コーディネーターの仕事を観察・体験～

進路づくりプロジェクト報告会の様子

インターンシップ、ジョブシャドウイング、アカデミックインターンシップ参加者が体験したことをクラスメイトに報告しました!



生徒の振り返り

自分たちの将来のことを考えて参加していてスゴイと思った。どのインターンシップも自分で行動する力、人と関わる力が大切だと分かった。自分で知ることややりたいことが見えてきたりする。

全員がインターンシップを通して学んだことや、初めて知ったことを発表していてよかった。この経験を将来に活かしていきたいと思う人が多数いて、インターンシップを行って良かったと思っているように見えた。

社会に出ると自分から行動することが大事だと分かった。また、就く職業によっても必要な能力が違うので、今のうちから将来のことを考えることが大切だなと思った。

この報告会を通して仕事によって求められる能力は異なっているが、どれも必要な能力なので少しでも社会で出る前に身に付けられたらいいと思った。

インターンシップにも色々あって楽しそうだった。私は将来何をしたいかがまだ決まっていなくて、色々な仕事を調べ、大学のイベントにももっと参加しようと思った。

今回、大学と仕事のインターンシップ報告を聞いてそれぞれ違った学びがあり、やってみないと分からないことがあるんだなと思ったので、こういう機会に参加できるのはすごいと思った。

職場には「かふやみ力」全てが必要だということが分かった。自分も今から「かふやみ力」を身に付け、将来に繋げていけたらと思った。

進路にはいろんな進み方があるということを知りました。また、僕はこの4つの話を聞いて大学に進学してみたいと思いました。そこで色々な分野を学んで色々な選択肢を持っておきたいと思いました。

インターンシップ前と後で、その仕事に対する考え方が変わるし、その仕事の大変さを知ることができるから、実際に体験することが大切だと思いました。自己理解を深めて、自分のやりたいことを見つける。

自分が将来就きたい職業について知りたいと思うなら行動に移して一度経験してみることも大切だと思います。まだ、どの仕事にもやりがいや必要な能力があり、それはインターンシップを通してからしか分からないと感じました。

人それぞれ求めているものが違うけど、やりがいを求めて働くことが続くことだと思った。

4つのインターンシップ報告を聞いて体験しないと分からない必要な力があることが分かった。

インターンシップを行うことによって自分の将来にどんな力が必要であるか知り、職業を決める上で支えになる大切なことを学べる。

やっぱり進路を決めるためには知ることが必要だと思いました。色々なことを知ることによって明確な進路決定ができることが分かった。

それぞれの人が「働く」の意味を考えていてすごかった。進路のことについて自分も真剣に考えたい。

大学や職業を体験した人の話を聞いて、まずは挑戦してみる必要があるなと感じました。また、自分がやりたいことが決まらなくても色々な事に挑戦することで自分を知らせて、やりたいことが見つかると思いました。

働くことはお金のためだけじゃなく、その職業のやりがいを見つけることで働くことの意味が変わってくるということが分かった。

どの職業もかかわる力が必要だと分かった。実際に体験することで学べる力がたくさんあると思った。

観察だけでも得られるものは多い。自分の将来が明確になる。「自分を知ることが楽しい将来への近道」という言葉が印象に残った。

インターンシップ報告を聞いて、体験しないと分からない必要な力があると分かった。

報告を聞いてたくさんの事を学ぶことができました。自分も大学が楽しみになってきました。

インターンシップをすることでネットの情報や人からの情報からは学べないことがあることを知りました。

仕事内容や大切な事は思っていたこととは全く違うこともあるのでやはり実際見て体験することが大事だと思った。

「職業インタビュー」で学んだことをクラスメイトと共有しました!

インターンシップに参加しなかった生徒は、身近な人に「職業インタビュー」を実施し職業理解を深めました。また、「職業インタビュー」をとおして学んだことをクラスメイトと共有し「働く」ことについて考えました!



新たに学んだこと & 驚き

- 将来のことは現実的に決めないといけないと思っていたけど、意外と夢があって驚いた。
- たくさんの仕事があって様々なやりがいがあると学びました。
- 聞いたことのない職業があった。それぞれのやりがいがいなと思った。
- 仕事は人との関りがとても大切ということが改めて分かりました。また、それぞれのやりがいがある仕事を選んだ理由もバラバラだと感じた。



- こんな仕事があるんだという仕事ばかりで驚いた。
- みんな自分の親の仕事が意外と大変だということを知ることができたのが共通していた。
- 今まで知らなかった職業があって、どれもそれぞれにやりがいがあるってすごかった。
- 仕事が続いているのはやっぱりやりがいがあるからだなと思った。
- 同じ仕事でも人によってやりがいが違うのが意外だった。
- 働くとはお金稼ぎだけじゃなく、他の人色々な人の役に立つこと。